

安中市移動等円滑化促進方針及び礒部温泉地区バリアフリー基本構想（素案）に対するパブリックコメントの結果について

- ・意見等の募集期間：令和6年2月9日（金）～2月29日（木）
- ・意見等の受付人数：108人（持参：1人、郵送：1人、メール106人）
- ・意見等の受付件数：161件

No	該当頁	要旨	件数	意見（抜粋）	市の回答	計画への反映
1	-	「障害者」は「障がい者」と表記すべき	1	・本案は法令、規則、条例ではないことや本案の趣旨を踏まえると、「障がい者」と記述するなどの配慮を行うことが望ましいのではないか。	・上位計画である「安中市総合計画」においても「障がい者」と表記していることを踏まえ、ご指摘を参考に、可能な範囲で表記を修正しました。	・法律用語や固有名詞を除き、「障害者」を「障がい者」に修正
2	16	礒部駅までの所要時間について、確認が必要	1	・東京駅から礒部駅までの鉄道乗車時間が60分というのは、いくら何でもおかしくはないか。せめて80分が妥当。	・現状では乗車時間のみを記載しているため、約60分と記載していますが、乗り換え時間を含めると約90分となります。 ・「所要時間」を掲載している表のため、ご指摘の通り乗り換えも含めた時間に修正しました。	・東京駅以外も含め、鉄道の「乗車時間」を「所要時間」とし、乗り換えも含めた時間に修正 ・鉄道の所要時間は、乗り換え時間も含めている旨を注釈で追記 ・本文の時間の記載も併せて修正
3	17	現状の記述内容について、他項目と整合を図るべき	1	・「閉業する店舗が増加し」は不要ではないか。49ページの5.1のまちづくり動向で「来訪者向けの施設が多く立地している」との整合も良くない。	・ご指摘を反映し、文言を削除しました。	・「閉業する店舗が増加し」を削除
4		企業名は正式名称で記述すべき	1	・「信越化学工業」は「信越化学工業株式会社」に訂正する。市に多大な貢献をしている企業名は正しく記載して敬意を払う必要があり失礼があってはならない。	・ご指摘の通り、企業名や施設名については正式名称で表記すべきと考えますが、ご指摘の箇所については個別の名称は記載しないこととしました。	・「礒部駅南側には信越化学工業の関連工場がある」を削除
5	19	人口、世帯数について、簡潔に説明すべき	1	・「2020年（令和2年）には人口は609人、世帯数は285世帯となっている。（1995年（平成7年）を100とすると、2020年（令和2年）には人口は53と半減している。また、世帯数は68と1995年（平成7年）の7割弱まで減少している。」と説明が長いので、 「2020年（令和2年）には人口は609人（1995年（平成7年）比53パーセント）、世帯数は285世帯（1995年（平成7年）比68パーセント）となっている。」としてはどうか。	・ご指摘を参考に、文章を修正しました。	・以下のように修正 「2020年（令和2年）には人口は609人（1995年（平成7年）を100とすると53と半減）、世帯数は285世帯（1995年（平成7年）を100とすると68と7割弱まで減少）となっている。」 ※1995年（平成7年）との比較は割合ではなく指数のため、単位はなし
6	23	駅の外のトイレについて、簡潔に説明すべき	1	・「駅の外にはバリアフリートイレが設置しており、清潔に保たれているが、車椅子利用者への対応のみとなっており」は何を言いたいのか分かりにくい。「駅の外の車椅子利用者対応トイレは」で足りる。	・ご指摘を参考に、文章を修正します。	・以下のように修正 「駅の外には車椅子利用者対応トイレが設置してあるが、自動扉ではなく、非常呼出ボタンも設置されていない。また、オストメイトへの対応やベビーベッド等の機能は備わっておらず、補助犬トイレも設置されていない。なお、トイレの前にはベンチが設置してある。 駅の南側には～」
7		駅の外のトイレの設備について、詳しく記述すべき	1	・清潔云々より、出入り口扉が電動化されているか、非常時呼び出しボタンがあるか、押したら誰が来るのか、盲導犬用トイレの有無、そういう状況確認ができていない。		
8		ベンチの記述内容について、見直すべき	1	・「トイレの前にはベンチが設置しており、誰でも休憩できる」とあるが、「誰でも」の意味を取り違えていないか。礒部駅のバリアフリー状況を説明する条項なのだから写真にある様な手摺すらないベンチなど「誰でも」利用できる訳が無い。		

No	該当頁	要旨	件数	意見（抜粋）	市の回答	計画への反映
9		駅の中の状況について、詳しく記述すべき	1	・利用者目線でバリアフリー状況を確認してもらいたい。駅舎出入口扉は引き戸か開き戸か、電動化されているか、誰でも券売機の位置が分かるか、手すりはあるか、券売機はバリアフリー対応か、改札も位置が分かるか、切符はどうする、改札の幅は十分広いか、ホームは歩きやすいか、ホームと電車の段差や隙間は車椅子や足の不自由な者にとってどのようにバリアフリーが担保されているのかいないのか、しっかり現場に向き合って記述してもらいたい。	・ご指摘を参考に、文章を修正します。 ・なお、磯部駅では2015年にホームこう上工事（ホームをかさ上げし、列車との段差を軽減する工事）を実施済みです。 ・また、券売機や改札の状況など現場の詳細については、まち歩き点検結果を資料編に掲載予定です。	・以下のように修正 「駅舎の出入口は手動の引き戸だが、常に開放されている。駅舎内には視覚障害者誘導用ブロックが設置されており、出入口から券売機、改札及びホームまでシームレスに誘導されている。 駅のホームに～」
10	23	AEDの設置状況についても整理すべき	1	・公共的施設については、AEDの様な救命設備があればその設置状況について、誰でも位置を把握できるか、誰でも手に取れる位置に設置されているか、といった状況も確認してもらいたい。	・AEDの設置状況については、バリアフリー化とは趣旨が異なるため、本計画では扱わないこととしますが、今後「バリアフリーマップによる情報発信の実施」（P72：教育啓発特定事業）において、AEDの設置箇所について記載することも検討します。 ・なお、AEDの設置施設については、市のホームページで公表しています。 (https://www.city.annaka.lg.jp/page/1840.html)	なし
11	24	迂回乗車時の所要時間について記述すべき	1	・「迂回乗車」について、迂回にどれだけ時間がかかるのかも確認して記述してもらいたい。そうすれば16ページで記載した通常要する時間との対比で問題の大きさが理解しやすくなる。	・ご指摘を反映し、迂回時の乗車時間を追記しました。	・以下のように修正 「～お願いされることがある（迂回乗車すると、利用列車によるものの、磯部駅に戻って来るまで概ね40分程度かかる）。」
12	25	路線バス・乗合タクシーのバリアフリー状況について記述すべき	1	・磯部駅はバリアフリー状況を記載しているのに、こちらではバリアフリー状況の記載がない。ここで触れておけば69ページの表22（車両のバリアフリー化）とのつながりが出てくる。	・ご指摘を反映し、車両のバリアフリー状況について記載しました。	・車両のバリアフリー状況についてのページを追加（P27）
13	22 26 28	磯部駅の利用状況について全体の考察を入れるべき	1	・磯部駅の利用者数と駅までの移動手段別人員数を調べているのに、総合的な考察がなされていないのが残念。	・「バス・乗合タクシーの乗車人員」は路線全体の利用者数であり、駅までの利用者数ではありません。 ・駐輪台数は駅利用者数と概ね同様の傾向が出るとは思われますが、その関係から新たな考察を加え、課題を抽出するのは難しいと考えられるため、改めて駅利用者数と駐輪台数の比較は行わないこととしました。	なし
14	28 51	自動車、自転車、歩行者の錯綜の記述内容について見直すべき	2	・P27：「自動車、自転車、歩行者が錯綜すること考えられるため」とあるが、現実問題として既に「錯綜して危険なため」なのではないか。41ページのまち歩き点検結果では触れられていないが、この点検は昼過ぎの時間帯であったためであろう。 ・P49：突然「駐車場の需要集中に伴う」と出てくるが、本当にそうなのか。単に「交通輻輳時に（交通渋滞時に）」で良いのではないか。「錯綜の可能性」ではなく「錯綜することによる危険（錯綜することによる交通事故発生の可能性）」ではないか。	・通学路点検のデータや地元住民の方々等の情報により、錯綜による危険事象が発生していることを確認しました。 ・ご指摘を参考に、文章を修正します。 ・P51については、「駐車場」ではなく「駐輪場」についての内容ですので、上記に従います。	・以下のように修正 P28：「～需要が集中し、自動車、自転車、歩行者の錯綜による危険事象が発生しているため、～」 P51：「駐輪場の需要集中に伴い、自動車、自転車、歩行者の錯綜による危険事象が発生（安全確保が必要）。」
15	34	観光客が減少した理由を説明すべき	1	・2015年から2016年の落ち込みの原因は何なのか？記述した以上はきちんと説明すべき。移動等円滑化やバリアフリーに関係が無いなら記述しない方が良い。	・減少の理由については把握が難しいため、ご指摘を参考に2015年についての記述は削除しました。	・以下のように修正 「磯部温泉の観光入込客数は減少傾向にあり、特に新型コロナウイルスの流行後の2020年（令和2年）は～さらに減少している。 なお、参考として～をみると、新型コロナウイルスの流行前は概ね増加傾向にある。」

No	該当頁	要旨	件数	意見（抜粋）	市の回答	計画への反映
16	59	重点整備地区を拡大してほしい	1	・赤実線で囲まれた地区を追加してもらいたい。理由は、 1）歩行者の通行量が多い道路を含むこと 2）この道路が歩行者にとって磯部駅と磯部温泉街西部の生活関連施設を結ぶ重要な道路となっていること 3）信越線沿線は蒸気機関車運行時の撮影場所として重要な観光資源となっていること。  図 3-9 重点整備地区（案）	・ご指摘を反映し、重点整備地区を拡大しました。	・重点整備地区の南西部を鉄道沿線まで拡大
17	61 66	生活関連経路を追加してほしい	2	・P59：赤実線で示した経路を追加してもらいたい。理由は、歩行者の通行量が多い経路であることと、この経路が歩行者にとって磯部駅と磯部温泉街西部の生活関連施設を結ぶ重要な経路となっているため。また、案の経路が事故や災害によって通行不能となった場合の迂回路としても重要であるため。 ・P64：「図41 歩行空間の整備目標」も同様  図 4-0 生活関連施設・生活関連経路（案） ※生活関連施設は、どの生活関連経路に面しているのかわかるように、建物、駐車場を含めた敷地全体を表示	・ご指摘を反映し、生活関連経路を追加しました。	・指摘のあった道路を生活関連経路、歩行空間の整備目標に追加
18	65 71 73	視覚障害者に必要な段差を考慮してほしい	3	・P63：「出入口と歩道等との段差解消」については、慎重に検討してもらいたい。視覚障がい者にとって過度な段差は「出入口と歩道」、「車道と歩道」とを区別するための非常に重要な手がかりであるため。 ・P69：既設の歩道については、視覚障がい者が必要としている段差の整備と両立させてもらいたい。 ・P71：「段差の改善を検討」は良いと思うが、「視覚障がい者に必要な段差は確保する」ことが前提であることが見えてこない。言葉としては合っていると思うが中身が伝わってこないで表現を工夫してもらいたい。	・ご指摘を反映し、文言を修正・加筆しました。	・以下のように修正 P65：「出入口と歩道等との段差改善」 P71：「既設の歩道について、セミフラットあるいはフラット型の歩道への改善等を検討（視覚障がい者が歩行時の判断に必要な段差は維持）」 P73：「段差の改善を検討（視覚障がい者が歩行時の判断に必要な段差は維持）」

No	該当 頁	要旨	件数	意見（抜粋）	市の回答	計画への反映
19	65	整備方針では「誰でも」と表現した方が良い	1	<建築物・駐車場> ・「車椅子利用者等に配慮した」、「高齢者、障害者等が利用しやすい」という表現は、整備方針としては<案内・情報提供>に記述されている様に「誰でも利用しやすい」の方がバリアフリーの趣旨に馴染むのではないか。 （事業内容では、「車椅子利用者等」など具体化すれば良い。）	・ご指摘を反映し、文言を修正しました。	・ 以下のように修正 「誰もが通行しやすいような出入口幅や建具等の改善」 「誰もが利用しやすいバリアフリースイレの設置・改善」
20		公共交通の整備方針を見直すべき	1	<公共交通> ・方針としては、「誰もが電車から生活関連施設までストレスフリーで移動できる経路の整備」くらいではないか。	・ご指摘の内容は、旅客施設と生活関連経路の横断的な内容となり、本項の趣旨と整合しないため、特に記述しないこととします。 ・なお、旅客施設と生活関連経路について面的にバリアフリー化することで、「電車から生活関連施設までストレスフリーで移動できる」が実現すると考えます。	なし
21	65 70	電車とホームの段差について追加してほしい	2	・P63：改札口の幅や、ホームと電車ドアとの段差についても記述すべき。 ・P68：内容に、電車ドアとホーム間の段差解消を追加してもらいたい。	・2015年にホームこう上工事を実施しているため、ホームと車両の間の段差及び隙間については、特に問題ないと認識しています。 ・また、改札口の幅についても、まち歩き点検の結果で特に問題がなかったため、特に記述しないこととします。	なし
22	70	目的、事業の表現がわかりにくい	1	・目的は整備方針の方が分かりやすい。事業はソフト事業の方が分かりやすい。	・目的と整備方針は異なるため、目的への整備方針の記述は行わないこととします。整備方針に基づいて事業が設定され、その目指すところ（理由）を記載しているのが目的のため、多少抽象的な表現となっています。 ・事業についてはご指摘を反映し、表現を修正しました。	・事業について、具体的な表現に修正 例：駅の移動円滑化→駅のバリアフリー経路の整備 など
23	70	磯部駅にエレベーターを設置してほしい	84	・エレベーターが上下線両方にあった方がよいと思う。 ・なぜ駅にエレベーターがないのか。高齢のため免許返納も近づいている。どうか家に引きこもらない人生にさせていたいただきたい。 ・ファミリーの観光客から、駅にエレベーターがなく苦労した話を聞き、申し訳ない気持ちになった。「是非また磯部温泉に来てください」と胸を張って言えない状況は、改善すべき。 ・駅にエレベーターがなく、子育て中は大変だった。誰にでも優しく便利な「磯部駅」になってほしい。	・公共交通特定事業（P70）において、「上下のホーム間及び駅の南北間における移動経路について、整備方針を一体的に検討」することとしており、エレベーター等の整備や南口改札の開設等について検討していきます。 ・スロープの設置についても、対応策の1つとして参考にさせていただきます。	なし
24		階段を使用せずに改札を出られるようにしてほしい（特にエレベーター等への言及はなし）	9	・温泉旅館の利用客より、駅の構造が不親切だにご指摘をいただくことがある。 ・高齢者には駅の階段は大変だと思う。事故が起こる前に何か対処すべき。 ・磯部駅の階段が登れないため、横川駅まで行き、折り返しの電車に乗って帰って来る高齢者がいる。これから高齢者が増えていく中で、この問題をなんとかしてほしい。		

No	該当頁	要旨	件数	意見（抜粋）	市の回答	計画への反映
25		磯部駅にエレベーター、エスカレーターを設置してほしい（どちらか一方、または両方）	7	・駅にエレベーター又はエスカレーターがあると助かる。 ・上下線ホームへのエレベーター及びエスカレーターの設置。 ・観光地にも関わらず、駅にエレベーターもエスカレーターも設置されていない現状を常に問題視している。高齢化が進むため、近々に工事に着工していただきたい。 ・遠方への車の運転が辛くなっているため、駅にエスカレーターかエレベーターがあれば電車を利用したい。どうぞ、足腰の弱ってくる高齢者の願いをお聞き頂き、ご配慮いただきたい。		
26		磯部駅にエスカレーターを設置してほしい	2	・エスカレーターを設置すれば駅の利用も増えると思う。 ・磯部駅は観光、ビジネスとこれから有望な駅であり、乗客数の増加が見込まれるため、エスカレーターの設置を要望する。インバウンド対策もかなり効果があると思う。		
27		磯部駅にスロープを設置してほしい	2	・下り線の階段が急すぎるため、ご年配の方や車椅子の方など、皆困っている。エレベーターやエスカレーター、スロープの設置が望ましい。 ・駅の階段にスロープが必要（旅行者のキャリーケース用通路の設置）。		
28		駅前広場トイレの事業内容を充実してほしい	1	・内容に、非常時呼び出しボタン及び盲導犬用トイレの設置検討を追加してもらいたい。	・ご指摘を反映し、内容を充実させました。	・以下のように修正 トイレにおけるバリアフリー設備の充実（P70） 既存内容の修正：「オストメイト設備、ユニバーサルシート、非常時呼出ボタン等の設置検討」 新規内容の追加：「補助犬トイレの設置検討」
29	71	道路に視覚障害者誘導用ブロックを整備すべき	2	・誘導用ブロックは整備しないのか。 ・駅から温泉街にかけての石畳＆点字ブロックを設置すると良い。（再掲）	・地区内は幅員が狭い道路が多く、歩道の新設が難しい状況です。既設の歩道のみ視覚障害者誘導用ブロックを設置しても、連続した歩行空間の確保とはならないため、本計画では「視覚障害者誘導用ブロックの設置」については記載しないこととしました。 ・なお、今後の状況に応じて、リーディングラインやリブ式の車道外側線の設置について検討します。	なし
30		道が狭い	1	・磯部への道が狭い。	・ご指摘の状況については、本計画において整理しています（P28：地区内の道路網）。 ・道幅が狭い道路については、安全性の確保のため、薄層カラー舗装等による歩行空間の確保を実施します（P69：道路特定事業）。	なし
31	71	急坂を拡幅（または待避所を設置）してほしい	2	・温泉地中央の急坂（せんべい坂）について、沿道の空き家を取り壊し、道路の拡幅または車がすれ違うための待避所を設置できるのではないか。 ・駅から温泉街への道路を改修してほしい。道幅が狭く、急坂もあり、歩行者と車がすれ違うときは危険。	・まち歩き点検時にも同様のご意見をいただいておりますが、ご指摘の内容については、今後の道路整備の参考とさせていただきますため、事業とは別に本計画に記載しました。	・P77に「その他」のページを新たに追加し、今後の道路整備の参考として左記ご意見の内容を記載
32		石畳等で温泉街らしい風景にしてほしい	2	・駅から温泉街まで石畳等を敷き、温泉街らしく趣のある道にしてほしい。 ・駅から温泉街にかけて石畳及び点字ブロックを設置すると良い。		

No	該当頁	要旨	件数	意見（抜粋）	市の回答	計画への反映
33		急坂に休憩所を設置してほしい	1	・車椅子等で坂道を下ったり登る時に休憩スペースがあると良い。		
34		道路混雑を改善してほしい	2	・通勤・通学時間帯は駅への道が混雑するため、磯部公園前の空き家を取り壊し、ロータリーの整備や道路の拡幅を行うと良いと思う。 ・朝夕の駅前道路の混雑を改善してほしい。通勤・通学のための車の送迎で渋滞し、送迎以外の車両も歩行者も大変な事が多い。		
					・渋滞対策については、市の交通政策における取り組み（公共交通の利用促進等）で対応していきます。	なし
35		ラックレールを再利用したグレーチングは処分しないでほしい	1	・駅ロータリーに碓氷峠のアプト式で使われていたラックレールを再利用したグレーチングがあり、まちの歴史と文化を表している。撤去した場合は処分せず、バリアフリーおよびユニバーサルデザインのために本事業を行ったという象徴として、どこかに展示する、移設する、モニュメントにするなど活用してほしい。	・ご指摘を参考に、ラックレールを再利用したグレーチングを付け替えた場合は、その後の活用方法について検討します。	なし
36	72	車椅子使用者用の駐車スペースが必要	1	・車椅子で来た人達が自由に駐車できるスペースが必要。	・路外駐車場特定事業（P72）に記載している通り、「車椅子使用者用駐車施設の整備の検討」を進めていきます。	なし
37	72	ポケットパーク以外にも多言語対応すべき	1	・「多言語対応等」は良い取り組みなのだから、他の特定事業でも取り上げられるべき。	・その他の事業（P76）において、重点整備地区内における「サインガイドライン」を作成することとしており、その中で様々な箇所における多言語対応についても整備方針を検討していきます。	なし
38	73	足湯を改修してほしい	1	・足湯の増設又は改修（棚、手すり等があると便利）。	・建築物特定事業（P73）において、「多様な利用者に配慮した足湯、手湯等の整備」を検討することとしています。 ・棚、手すり等の設置についても、検討時の参考とさせていただきます。	なし
39		磯部会館のトイレを改善してほしい	1	・磯部温泉会館は、利用者多数にも関わらず和式トイレのまま。今の世相に合う施策をお願いしたい。	・ご指摘を反映し、事業を追記しました。	・以下のように追記 事業箇所：磯部温泉会館 目的：バリアフリー対応 事業：トイレのバリアフリー化 内容：バリアフリースイートの設置検討
40	73	信号機を設置してほしい	1	・磯部駅へ向かう途中の十字路について、信号機を付けた方が良いのではないか（一時停止しない車が多い）。	・まち歩き点検時にも同様のご意見をいただいておりますが、ご指摘の内容については、今後の交通安全対策の参考とさせていただきます。	・P77に「その他」のページを新たに追加し、今後の交通安全対策の参考として左記ご意見の内容を記載 ・道路構造上難しい旨について、注釈で追記
41	75	心のバリアフリーで理解すべき対象を障害当事者等と限定すべきではない	1	・「障害当事者等についての知識の理解、周知」とあるが、障害当事者等に限定する必要はない。実社会では誰でも病気や事故によって永久的、一時的に身体の障がいが発生することあれば、乳幼児、高齢者、妊婦、外国人など特段の配慮を要する者も共存する。共生社会実現に向けて・・・など、事業を前向きに工夫してもらいたい。	・ご指摘を反映し、事業名を修正しました。	・以下のように修正 「共生社会の実現に向けた意識啓発」
42	76	通訳機を整備すると良い	1	・対象者は障害者＋健常者及び、日本人＋外国人（インバウンド等）を踏まえ、通訳機（pocketalk）等の整備	・旅客施設や観光施設では、インバウンド対応として翻訳アプリ等を活用しています。 ・通訳機については、今後必要に応じて補助等による設置促進を検討します。	なし

No	該当 頁	要旨	件数	意見（抜粋）	市の回答	計画への反映
43	76	色覚障害者にも配慮した案内等を設置すると良い	1	・色盲の人に対する対策として、標識等の配色を検討し設置	・ご指摘を反映し、「サインガイドラインの記載内容（想定）」を充実させました。	・以下のように修正 サインガイドラインの記載内容（想定）（P76） 「文字の大きさや配色など、ロービジョンの方や色覚障がい者に配慮した案内の設置方針」
44		案内板の更新について分かりやすく記述すべき	1	・4）空き施設への対応について、「廃業した施設を削除するなど案内板の情報を更新する」では分かりにくい。「案内板から廃業した施設の情報を削除し、新たな活用の状況に応じて情報を更新する」くらいが良いのではないかな。	・ご指摘を参考に、文言を修正しました。	・以下のように修正 「また、案内板から廃業した施設を削除するとともに、新たな活用状況に応じて情報を更新する」
45		温泉街に新たな店舗を整備してほしい	1	・空き家や空地等を活用し、市の方でお土産屋、朝市、スナック、飲み屋、せんべい屋等の整備が考えられるのではないかな。	・市では、今後「創業者サポート補助金」の創設を予定しており、ご指摘のような店舗の創業について支援していきます。	なし
46		風雨を避けるための施設が必要	1	・風よけや雨宿りができ、車寄せもできる場所やベンチ等が必要。	・ご指摘の内容については、空き施設の新たな活用方法として、参考にさせていただきます。	なし
47		店舗入口の段差解消について補助してほしい	1	店舗の入口 各商店等に入口に段差がある所もあるので段差や溝等の補助がほしい	・市では、「店舗等改修等工事補助金」を交付しており、店舗の改修の際にご活用いただけます。	なし
48		まちに合う街灯を整備してほしい	1	・観光客に「駅を降りた風景が寂しい」、「何がこのまちの特徴なのか、何を大切にしているのかが見えない」と言われたことがある。市の花であり、名産である梅をデザインした街灯があるため、その整備を提案する（具体の製品を提示）。温泉街の雰囲気にも合うと思う。	・ご指摘の内容については、今後の観光施策の参考にさせていただきます。	なし
49	－	バリアフリー化された美しいまちにしてほしい	1	・五年後には西毛自動車道も開通※し、前橋、東毛のお客様も磯部温泉に立ち寄りやすくなると思う。その時はバリアフリーで美しい磯部温泉でありたい。 ※西毛広域幹線道路のことで、令和11年度に全線開通予定（資料：群馬県「ぐんま・県土整備プラン2020」（令和2年12月））	・本計画に基づき、磯部温泉地区のバリアフリー化を推進していきます。	なし
50		できるところからバリアフリー化に取り組んでほしい	1	・言葉で説明してもわかりにくいと思うので、現場を見て、今出来る事にぜひ取り組んでいただける様、御願い申し上げます。		
51		バリアフリー化が進んでいる海外に視察に行くと良いのではないかな	1	・デンマークでは都市地域（市内）においてかなりバリアフリー対策済との事。市行政においても、2～3人で現地見学などしてはいかがかな。	・ご指摘の内容を参考に、今後機会があれば先進地視察の実施についても検討します。	なし
52		移動等円滑化という言葉はわかりにくい	1	・「移動等～」などという一般市民になじみのない用語はなるべく使わないでほしい。	・「移動等円滑化」という用語は、バリアフリー法に基づき使用していますが、わかりやすくするため、可能な範囲で表現を修正しました。	・「移動等円滑化」は「バリアフリー化」、「移動等円滑化基本方針」は「バリアフリーマスタープラン」の表記に修正 ・本計画名については、「バリアフリーマスタープラン（移動等円滑化基本方針）」と併記 ・ただし、法律用語や固有名詞については修正しない
53		個別の意見について、尊重してほしい	1	・個別に意見を求めるが、個別の回答はいたしかねるという態度はいただけない。物理的に無理という事ではなく、どうすれば意見を尊重できるのか考えていただきたい。	・パブリックコメントの制度上、皆さまからのご意見について、直接回答することはできませんが、お寄せいただいたご意見とそれに対する市の考え方を上記のとおり回答させていただいております。	なし